

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設 指定管理者 指定期間 施設所管課	かながわ労働プラザ 公益財団法人神奈川県労働福祉協会 H23. 4. 1 ~ H28. 3. 31 労政福祉課
------------------------------	--

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

利用状況については、当初の「平成27年度までに単年度で35万人」という目標にはまだ厳しい状況であるが、昨年度より利用者数は増加している。また、施設管理面では問題がなく、利用者サービス向上の取り組みや利用者拡大に向けた取り組みも積極的に行っていることからB判定とした。

- A：提案を上回る取り組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取り組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取り組みを実施していない。また、提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認 通知日	確認方法			指導 等の 有無	備考（指導事項等）
			月 報 確 認	現 場 確 認	電 話 確 認		
4月	5月15日	6月7日	○	×	○	無	
5月	6月15日	6月29日	○	×	○	無	
6月	7月13日	8月2日	○	×	○	無	
7月	8月15日	8月28日	○	×	○	無	
8月	9月14日	9月21日	○	×	○	無	
9月	10月15日	10月22日	○	×	○	無	

3 指定管理者が提案した取り組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	利用者サービス向上の観点から、利用者ニーズに即した施設・設備を提供する。	電子掲示板による多様な情報の提供や、第1期に導入した音響・映像設備を良好な状態での維持管理に努め提供した。また、交流広場などに各種講座等の開催案内チラシ、近隣地区の施設やイベントなどのパンフレット等を配架し、利用者サービスの向上に努めた。
2	利用者サービス向上の観点から、労働関係情報をはじめとした様々な情報を提供する。	労働情報コーナーでは、新刊図書やその時々話題になっている労働に関する事柄等の特集コーナーを設置するとともに、ホームページでは、サークル情報、近隣公共施設情報、自主事業開催情報、県及び関係機関などの講習会等の情報を提供し、利用者サービスの向上に努めた。

	提案内容	実施状況
3	利用者サービス向上の観点から、きめ細やかな対応による接客サービスを提供する。	会議室の利用方法や貸出機器の使用について、利用者へのきめ細かいサポートを行ったほか、外国人利用者が多いトレーニングルームにおける外国語による利用案内の掲示を行った。また、接遇の姿勢をまとめた「全員コンシェルジュ宣言」を職員が毎日励行し、トラブル防止や利用者サービスの向上に努めた。
4	施設の利用促進の観点から、利用者拡大のための積極的な広報活動を行う。	ホームページや広報誌での広報に加え、他団体等のホームページとの相互リンクやダイレクトメールの送付を行った。また、新たな取組みとして、ホームページに職員によるツイッターを開設し、当日の施設の空室情報等についてリアルタイムに情報提供するなど、積極的な広報活動に努めた。
5	施設の利用促進の観点から、利用者の自己学習、交流活動を継続する契機となるよう、また、施設を利用してもらうよう、積極的に自主事業を開催する。	労働・生活・文化教養・健康などをキーワードに次のような自主事業を開催し、施設の利用促進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・源氏物語講座 5/7：89名、5/21：90名、6/4：90名、 6/18：88名、7/2：83名、7/9：86名、 9/10：81名、9/17：80名参加 ・ヨガ入門体験講座 5/18：20名、5/25：20名、6/1：17名、 6/8：18名、6/15：20名、6/22：18名、 6/29：18名、7/6：14名、7/13：17名、 7/20：16名参加 ・ヨガ入門体験講座Part 2 8/31：12名、9/7：17名、9/14：14名、 9/21：14名、9/28：12名参加 ・パソコン初級講座 6/5：13名、6/8：13名、6/12：12名、 6/15：12名、6/19：12名、6/22：12名参加 ・職場のメンタルヘルス対応法 6/27：26名、7/2：28名、7/17：23名、 7/26：25名参加 ・ホームページ作成講座 8/4：5名、8/5：5名参加 ・フラダンス入門体験 9/10：13名、9/17：11名参加 ・ウクレレ入門体験 9/10：16名、9/17：13名参加 ・労働応用セミナー 9/26：21名参加
6	施設の利用促進の観点から、労働情報コーナーにおける図書・資料等を充実し、利用者の要望に適切に対応できるよう運営する。	労働情報コーナー内の特集コーナーにおいて、月ごとに次のようなテーマを設け、関連する資料を配架するとともに、利用者の要望を的確に把握し、必要な労働関係図書を購入した。また、インターネットを利用した蔵書の外部検索機能をホームページに立ち上げ、施設の利用促進に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・特集コーナーの月別テーマ 4月：メンタルヘルス 5月：就業規則 6月：第62期労働大学講座の講師著作物 7月：CSR コンプライアンス 8月：労働時間 年次有給休暇 育児・介護休業法 9月：非正規雇用・ワーキングプア

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		—	81,422	73,713	155,135	155,135	0
予算額	前年度	—	85,611	73,504	159,115	159,115	0
	上半期	—	42,805	36,752	79,557	79,557	0
	下半期	—	42,806	36,752	79,558	79,558	0
	今年度	—	86,526	68,027	154,553	154,553	0
	上半期	—	43,263	34,013	77,276	77,276	0
	下半期	—	43,263	34,014	77,277	77,277	0
上半期実績額	4月	—	6,348	5,111	11,460	11,550	▲ 90
	5月	—	6,627	6,316	12,943	9,421	3,521
	6月	—	6,587	4,641	11,229	12,433	▲ 1,203
	7月	—	7,418	5,734	13,152	10,652	2,500
	8月	—	5,877	5,758	11,635	13,693	▲ 2,058
	9月	—	7,126	6,206	13,332	11,725	1,606
	今年度 上半期合計	—	39,985	33,767	73,753	69,477	4,275
	前年度 上半期合計	—	40,791	31,755	72,547	62,840	9,707
	対前年度上半期比				1.7%	10.6%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

(会議室等)

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	23,877 人	21,989 人	8.6 %
5月	24,955 人	24,414 人	2.2 %
6月	26,220 人	26,820 人	▲ 2.2 %
7月	28,797 人	27,533 人	4.6 %
8月	21,789 人	22,232 人	▲ 2.0 %
9月	27,743 人	26,862 人	3.3 %

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

利用者から要望のあったヨガ入門体験講座の追加開催、蔵書の外部検索機能のホームページでの立ち上げ、ダイレクトメールの送付など、利用者サービスの向上及び利用者促進に努めている。
 今後、施設開館17年が経過して設備・備品等の老朽化が進んでいることから、引き続き設備等の点検を行うとともに、備品の更新などを適宜行い、利用者サービスの低下につながらないよう努めてもらいたい。また、平成27年度までに利用者数単年度で35万人という目標達成に向け、設備等の充実、広報の強化などに取り組んでもらいたい。